

# ふくしま新ステージ 有識者懇談会 【第1回】

---

日時：令和元年5月7日 火曜日 午後3時～午後4時30分  
場所：福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室

# ～ 目 次 ～

---

## **(1) 第6次福島市総合計画の構成と懇談会の役割等について**

- ①はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ②第6次福島市総合計画の構成と策定推進体制・・・・・・ 5
- ③第6次福島市総合計画策定の推進体制図・・・・・・・・・ 6
- ④ふくしま新ステージ有識者懇談会の役割・・・・・・・・・・ 7
- ⑤総合計画Yu-Me（ゆめ）会議の役割・・・・・・・・・・・・・ 8
- ⑥策定委員会（庁内組織）の役割・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ⑦これまでの取り組み状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ⑧ふくしま新ステージ有識者懇談会の議論のポイント・・ 11

## **(2) 今後の進め方について**

- ①各推進体制の全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ②その他（情報発信と意見募集）・・・・・・・・・・・・・・ 14

## (1) ① はじめに

### ～総合計画とは～

総合計画は、市のまちづくりに関する最も重要な計画です。  
市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)を実現するため、  
長期的な展望のもと、まちづくりの基本的な方向性などを  
示すものです。

この計画に基づき、子育てや健康・医療、福祉、観光、産業、  
環境など、さまざまな分野でまちづくりを進めていきます。

## (1) ① はじめに

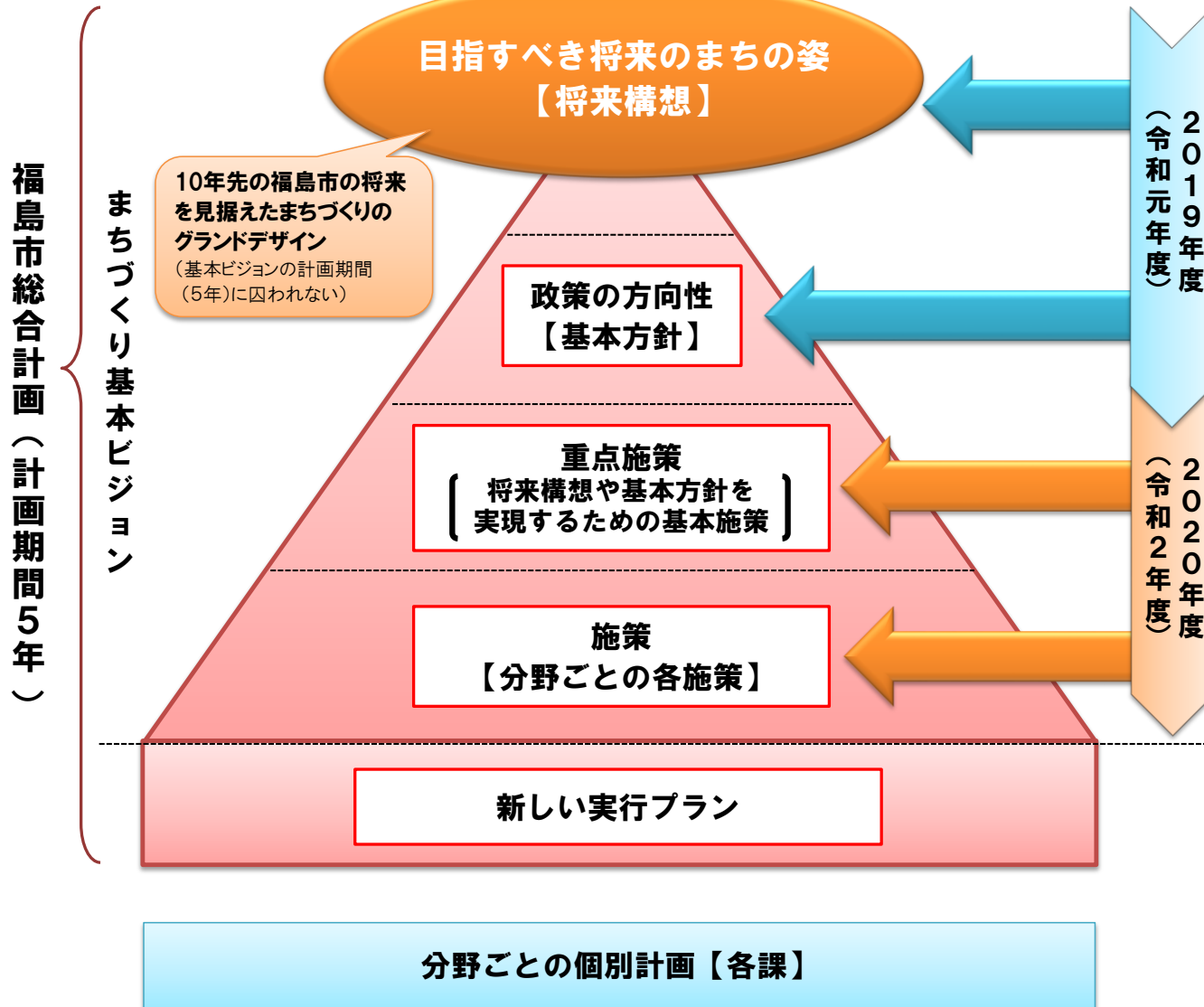
### ～総合計画の期間と考え方～

新しい総合計画となる「第6次福島市総合計画」の期間は、令和3年度～令和7年度までの5年間となります。

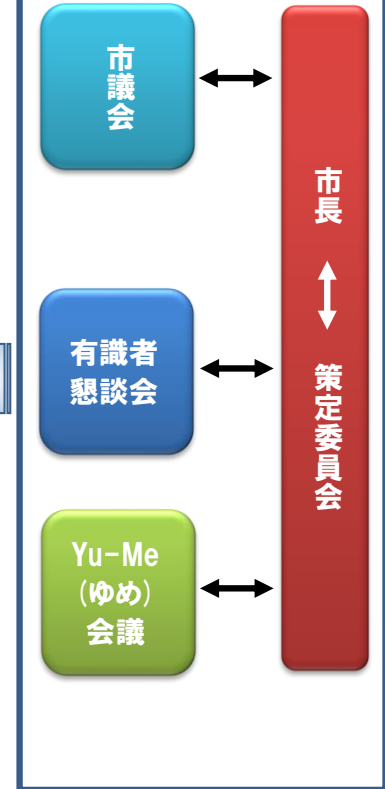
「第6次福島市総合計画」では、10年先の福島市の将来  
を見据えたまちづくりのグランドデザインを示しつつ、これらを実現するための今後5年間の政策の方向性や重点施策等を定めるものです。

# (1) ② 第6次福島市総合計画の構成と策定推進体制

【総合計画の構成】



【推進体制】



# (1) ③ 第6次福島市総合計画策定の推進体制図

2019年度(令和元年度)

2020年度(令和2年度)

市民

## 総合計画Yu-Me(ゆめ)会議(市民ワークショップ)

【Yu-Me(ゆめ):you\_make\_together(ユ-メイクトゲッサー、あなたと一緒に作る)、夢や希望のもてるまちにする総合計画】

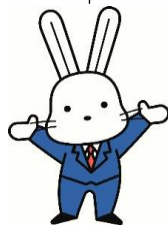
…学生や無作為抽出、公募による市民等で構成(100名)し、対話により多様な意見を出し合う。

市民参画アドバイザーは対話しやすい場となるよう、進行やコーディネートを担当。

市民参画  
アドバイザー

【2019年度:6/22、7/27、8/10、9/7、10/12 土曜日】

○「将来どのような福島市になると良いか?」、「福島市の強みや弱みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して意見(キーワード)などを出し合います。



【2020年度】

○「どのような取り組みをすると目指す姿に近づくか?」、「力を入れていくべき取り組みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して総合計画の案をより良いものに仕上げます。

有識者

## ふくしま新ステージ有識者懇談会

【震災から10年、「その先」へ向けて県都福島市が目指す姿を描く総合計画】

…経済や産業、報道などの各界の代表等で構成(13名)し、専門的な知見から議論。

【2019年度】

○市が本市の現状や課題などの情報を提供し、意見を収集します。  
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)や政策の方向性など、総合計画の根幹となる部分を中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)などを実現するための重点施策や施策の方針などを中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○市が目指すべき将来の姿や政策の柱などの情報を提供し、意見を収集します。  
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度～2020年度】

○市がYu-Me(ゆめ)会議の意見などを踏まえて作成した総合計画素案などを提示し、意見を伺います。

行政

## 総合計画策定委員会・幹事会・ワーキンググループ(庁内組織)

…Yu-Me(ゆめ)会議や有識者懇談会の意見などを踏まえ、総合計画の原案を策定。

# (1) ④ ふくしま新ステージ有識者懇談会の役割

## 役割

- ◆学識経験者や有識者で構成(13人)し、総合計画Yu-Me(ゆめ)会議の意見などを踏まえて市が作成した総合計画の案に対して議論する。
- ◆統計資料(社会指標分析)や市民アンケート調査等の客観的なデータを基に、目指すべき将来の姿などのビジョンを検討する。
- ◆専門的な知見を活かしつつ、全体を俯瞰した幅広い視点で総合計画の案に対して、助言や提言を行う。

## テーマ

- ◆震災から10年、「その先」へ向けて県都福島市が目指す姿を描く総合計画。

## コンセプト

- ◆東日本大震災と原発事故の発生から10年が経過し、国では「復興・創生期間」の区切りを迎える。
- ◆これまでの復興の取り組みと成果、顕在化する諸課題(人口減少の進行等)等を踏まえつつ、県都として次に目指す将来のまちの姿を描く。

# (1) ⑤ 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の役割

## 役割

- ◆多世代・多種多様な市民(100人程度)が対話を通してまちづくりについて日頃から感じていることを話し合い、意見(キーワード)を出し合う。
- ◆何かを決める場ではなく、意見や思いを出す場。

## テーマ

- ◆まちづくりを「他人事」から「自分事」として考えることができる人材を育成し、積極的な市民参画意識の醸成を促進する。
- ◆市民(あなた)と一緒に作る、夢や希望のもてるまちにする総合計画。

## コンセプト

- ◆総合計画(まちづくり)を市民と行政の”共有物”として考える(現状や課題、解決に向けた取り組み等の共有)
- ◆立場、世代、時代をつなぐ(話しをしていそうで、話しをしていない者同士で、話しをする)
- ◆市の取り組みに関わりが少なかった方を取り入れる
- ◆楽しく学び話し合う、まじめなことを気楽に話し合う

## 参加者構成(100名程度)

◆無作為抽出による市民  
40名程度  
3,000名に案内文を送付  
※4/26発送

◆公募による市民  
10名程度  
市政だより等による広報  
※4/24受付開始

◆学生(高校生・大学生)  
20名程度  
産官学連携プラットフォームの  
構成学校等を想定

◆民間企業社員・関係団体等  
30名程度  
包括連携協定企業、  
関係団体、外国人等を想定

### ★市民参画アドバイザー

市民参画アドバイザーは、参加者同士が対話しやすい場となるよう、進行等のファシリテーションを行う。  
また、総合計画Yu-Me(ゆめ)会議全体のコーディネート(企画・指導・助言)を行う。



# (1) ⑥ 策定委員会（庁内組織）の役割

## 第6次福島市総合計画策定委員会 【両副市長・各部署長】

- 【所掌事務(役割)】
- ・総合計画の原案を策定すること。
  - ・市民の意見を総合計画に反映させるための調整を行うこと。
  - ・その他総合計画策定の推進に関すること。

## 第6次福島市総合計画策定委員会幹事会 【各部署次長】

- 【所掌事務(役割)】
- ・総合計画原案策定の事務を補佐すること。
  - ・幹事会にワーキンググループを置く。

### ワーキンググループ（原案作成調査研究担当） 【課長補佐、係長職等】

#### 【役割】

- ◆目指すべき将来の姿（将来都市像）や政策の柱に基づき、総合計画Yu-Me(ゆめ)会議やふくしま新ステージ有識者懇談会の意見等を踏まえた**総合計画の素案（各施策）**を作成する。
- ◆総合計画Yu-Me(ゆめ)会議において、**総合計画素案の説明等**を行う。

#### 【活動期間】

- ◆2019年度（令和元年度）後半～総合計画策定まで

#### 【担当者選定】

- ◆関係各課（58課想定）から各1名を選定する。

### ワーキンググループ（Yu-Me(ゆめ)会議担当） 【概ね新規採用3～5年目の若手職員】

#### 【役割】

- ◆総合計画Yu-Me(ゆめ)会議への**参加及び運営補助**を行う。  
**総合計画Yu-Me(ゆめ)の各グループに加わり、主にグループワークの補助**を行う。  
政策調整課とともに**総合計画Yu-Me(ゆめ)会議の準備、会場設営等**を行う。

#### 【活動期間】

- ◆2019年5月～総合計画策定まで

#### 【担当者選定】

- ◆各部署（14部署）から1～2名（全体で20名程度想定）を選定する。

#### ※若手職員を対象とする趣旨

- ・市民とともに対話する場の雰囲気を感じ、市民目線の考え方や必要性、多様な市民ニーズの存在等を学ぶ。
- ・総合計画Yu-Me(ゆめ)会議への参加経験を通じて、市民との協働のまちづくりのノウハウを身に付け、今後の市政運営に活かす。（総合計画策定後のレガシー）

**(1) 福島市総合計画 後期基本計画**

現在の福島市総合計画。  
計画期間は2016年度～2020年度（令和2年度）。

**(2) ふくしまを元気に！新ステージへ**

新ステージへの本格始動に向けた取り組み状況等を  
政策目標などで整理したもの。

**(3) 平成31年度 予算の概要**

平成31年度（令和元年度）当初予算の編成方針や  
特徴的な施策事業等を整理したもの。

**(4) 新しい福島市総合計画の策定に向けた市民アンケート  
調査報告書**

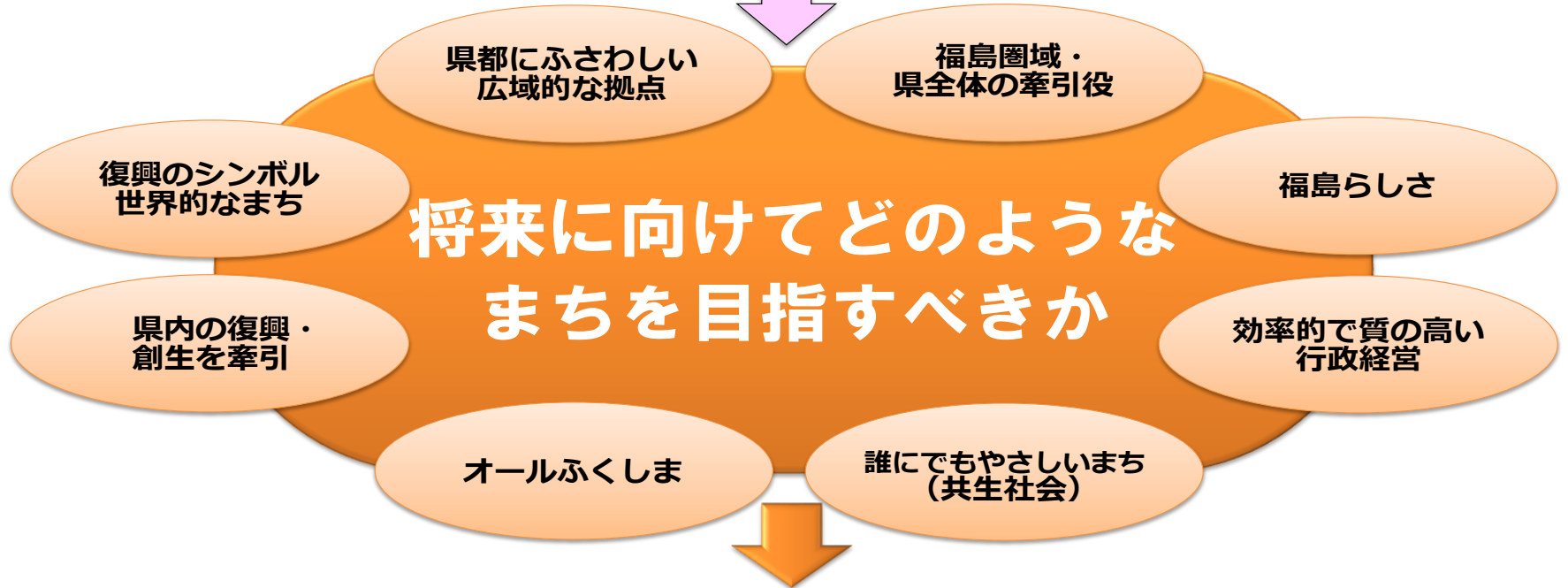
平成30年度に実施した市民アンケート調査の結果。  
市民の意向を一定程度明らかにしたもの。

# (1) ⑧ ふくしま新ステージ有識者懇談会の議論のポイント

## 現状

東日本大震災から9年目、除染は終了  
*but* 復興はまだ道半ば  
少子高齢化、人口減少の進行 など課題は山積

中核市移行、オリンピック・パラリンピックの開催、  
東北中央自動車道開通、福島駅東口周辺再開発、  
古関裕而氏をモデルとしたNHK連続テレビ小説  
「エール」放映決定 など新ステージに向けた舞台が整う



～ふくしま新ステージ有識者懇談会～  
大所高所の幅広い視点で議論

# (2) ① 各推進体制の全体スケジュール 【令和元年度】

2019(令和元)年度 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

総合計画「Yu-Me(ゆめ)会議

【役割】  
・多世代・多種多様な市民(100人程度)が対話を通して日頃から感じていることを話し合い、意見を出し合う。  
・何かを決める場ではなく、意見や思いを出す場。

目指すべき将来のまちの姿や政策の方向性を検討するうえでの意見を取り入れる

第1回(6/22) テーマ 条件なしに未来を語る	第2回(7/27) テーマ 現状を見つめ直して未来を語る	第3回(8/10) テーマ 選択の時代を学び未来を語る	第4回(9/7) テーマ 現状を見つめ直して未来を語るpart2	第5回(10/12) テーマ 未来の福島の具体的な姿を語る
「まわりからうらやましがられる未来の福島市」	「もっと伸ばしたい強み、ぜひ解決したい弱み」	「まちづくり・財政運営をゲームで体験」	「関心のあることを深掘り」	「福島市の未来の新聞を作ろう」

【主な内容】

・市民参画アドバイザーを設置し、ワークショップの企画・運営等を行う。  
・ワークショップは、6人/1グループ、全20グループ程度で、共通のテーマで対話する。

【新たな取り組み(特徴)】

★高校生や大学生、無作為に選んだ市民の参画  
★100人規模のワークショップ

策定委員会

【役割】  
・市民や有識者からの意見を取り入れ、総合計画の原案を策定する。

・ゆめ会議で出された意見(キーワード)等を集約し、これらを踏まえて目指すべきまちの姿や政策の方向性の案を作成

・ゆめ会議の意見等や懇談会からの助言等を踏まえ、目指すべきまちの姿や政策の方向性の案を作成

・懇談会からの助言等を踏まえ、目指すべきまちの姿や政策の方向性の案を作成

・懇談会からの提言等を踏まえ、目指すべきまちの姿や政策の方向性を決定

ふくしま新ステージ有識者懇談会

【役割】  
・学識経験者や有識者で構成(13人)し、市が作成した総合計画の案に対して議論する。  
・専門的な知を活かしつつ、全体を俯瞰した視点で総合計画の案に対して、助言や提言を行う。

第1回(5/7) 議題  
・総合計画策定の考え方  
・懇談会の目的と役割  
・今後のスケジュール  
ほか

第2回(8月) 議題  
・ゆめ会議の中間報告  
・福島市の現状と課題(統計資料、市民アンケート結果等)  
・目指すべきまちの姿の検討  
ほか

第3回(11月) 議題  
・ゆめ会議の報告  
・目指すべきまちの姿等の案を提示  
・これらへの助言  
ほか

第4回(2月) 議題  
・目指すべきまちの姿等の案を提示  
・これらへの助言、提言  
ほか

提言書(意見)

本市の目指すべき将来のまちの姿や政策の方向性を中心に議論(助言、提言)

# (2) ① 各推進体制の全体スケジュール 【令和2年度】

2020(令和2)年度 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

総合計画Yu-Me(ゆめ)会議

【役割】  
・多世代・多種多様な市民(100人程度)が対話を通して日頃から感じていることを話し合い、意見を出し合う。  
・何かを決める場ではなく、意見や思いを出す場。

施策などのブラッシュアップ(表現、分かりやすさ)や自分たち(市民)ができることを考える

第6回(5月下)  
テーマ  
1年目の振り返りとあなたの気になる施策ベスト3

第7回(7月上)  
テーマ  
市の総合計画素案を一緒により良いものに仕上げる

第8回(7月下)  
テーマ  
市の総合計画素案を一緒により良いものに仕上げる

第9回(8月中)  
テーマ  
市の総合計画素案を一緒により良いものに仕上げる

第10回(9月下)  
テーマ  
市の総合計画素案を一緒により良いものに仕上げる

「各施策」  
・安全安心  
・健康福祉  
・生活  
など

「各施策」  
・産業  
・観光  
・交流  
など

「各施策」  
・教育  
・子育て  
・環境  
など

「全施策」

【主な内容】

・市民参画アドバイザーを設置し、ワークショップの企画・運営等を行う。  
・7~10回のワークショップは、市が各施策ごとに素案をプレゼンし、説明後に市と市民が対話(感想や質問、もっとこうしたら?、市民ができることは?)する。

策定委員会

【役割】  
・市民や有識者からの意見を取り入れ、総合計画の原案を策定する。

・政策の方向性に基づく重点施策、各施策の作成

・懇談会の助言等を踏まえ、政策の方向性に基づく重点施策、各施策の作成

・ゆめ会議の意見等や懇談会からの助言等を踏まえ、政策の方向性に基づく重点施策、各施策の作成

・ゆめ会議の意見等や懇談会からの助言等を踏まえ、政策の方向性に基づく重点施策、各施策の作成

・総合計画の素案決定

・総合計画の素案パブコメ

・総合計画の原案決定

・総合計画の決定(緊急会議による議決)

ふくしま新ステージ有識者懇談会

【役割】  
・学識経験者や有識者で構成(13人)し、市が作成した総合計画の案に対して議論する。  
・専門的な知見を活かしつつ、全体を俯瞰した視点で総合計画の案に対して、助言や提言を行う。

第5回(5月上) 議題  
・重点施策、各施策への助言  
ほか

第6回(6月下) 議題  
・重点施策、各施策への助言  
ほか

第7回(8月下) 議題  
・重点施策、各施策への助言  
ほか

第8回(10月上) 議題  
・総合計画の素案への助言  
ほか

本市の重点施策や施策(分野ごとの各施策)を中心に議論(助言、提言)

全体報告会

## (2) ② その他（情報発信と意見募集）

### (1) 情報発信

本懇談会をはじめ、Yu-Me（ゆめ）会議などの取り組みを市ホームページなどに随時掲載し、総合計画の策定過程を情報発信する。

### (2) 意見募集

本懇談会やYu-Me（ゆめ）会議に参加していない方からも、総合計画（まちづくり）に対する意見を随時お聞きするために、市ホームページに受付フォームを開設する。

# ～ 事務連絡 ～

---

※第2回懇談会は

と き **8月22日(木) 午後1時30分～**

ところ **福島市役所 4階 庁議室**

での開催を予定しています。

※本日の懇談会の内容を踏まえ、委員の皆様から  
ご意見を頂戴したいと存じます。

大変恐縮ですが、**6月28日(金)まで**に事務局あて  
ご意見をお寄せください。